



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和5年11月21日

第29号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

オール江別で子どもたちを育むために

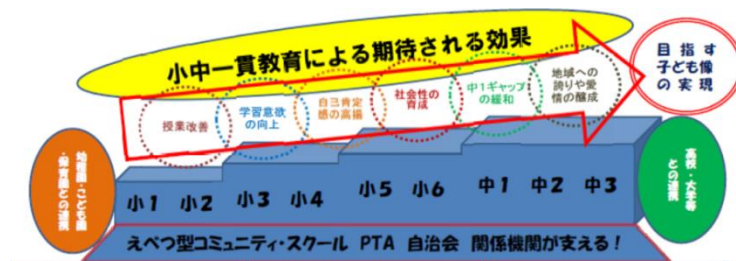
～小中一貫教育とえべつ型コミュニティ・スクール～

江別市の子どもたちは、落ち着いた雰囲気の中で日々の学習や生活に一生懸命取り組んでいます。近年は、学力や体力も全国平均を超える水準にあり、また、たくさんの児童生徒が様々な分野で活躍する等、これまでの教育実践の成果により、子どもたちは着実に力を伸ばしています。

一方で、全国的に見ると、少子化や核家族化の進行に伴い、集団で遊びに熱中したり、時に葛藤し、互いに影響し合って活動したりする機会が減少しています。また、都市化や情報化の進展によって、子どもの生活空間の中に自然や広場などといった遊び場が少なくなり、テレビゲームやインターネット等の室内の遊びが増えています。さらに、人間関係の希薄化等により、地域の教育力の低下も言われるようになりました。子どもたちを取り巻く環境は急激に変化しており、加えて、学校現場では、学力・体力の向上や豊かな心の育成の他、GIGA スクール構想の推進、特別支援教育の充実、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、学校における働き方改革の推進等、複雑かつ多様な教育課題が山積しています。このような状況に対して、もはや1つの学校だけで対応していくのは困難になってきており、義務教育9年間を見通した小・中学校の連携や家庭・地域と連携・協働した取組が必要な時代となってきてい

ると言えます。

そのため、江別市は、これまでの学校教育の成果を生かしつつ、子どもたちの学びをさらに豊かなものとするために、「系統的な指導」「一貫した指導」「相乗的・補完的な指導」の3本柱による小中一貫教育と、それを支える「えべつ型コミュニティ・スクール」による「地域とともにある学校づくり」を進めています。



小中一貫教育による期待される効果

※江別市小中一貫教育リーフレット（R5年4月発行）から抜粋

小学校と中学校を支えるえべつ型コミュニティ・スクール

～第二小と第二中で学校運営委員会を合同設置～

江別第二中学校区では、平成29年度の「えべつ型コミュニティ・スクール」の導入当初から2つの学校運営委員会を一緒に開催してきました。今年度からは、小中一貫教育の推進に合わせて第二小と第二中の2校で1つの学校運営委員会を設置しています。1回目は6月8日（木）に第二小で開催され、授業参観をした後に、委員の委嘱状の手交、小・中学校の学校経営方針、小中一貫教育等に関する学校側の説明と熟議が行われました。

2回目は10月31日（火）に第二中で開催され、授



2回目の第二中学校区学校運営委員会

業参観をした後に、小中一貫教育の新たな取組や全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の各種調査結果の概要、改訂した学校改善プラン等についての説明と熟議が行われました。

その他にも、中学校区の子どもたちの様子や各学校の教育活動、学校運営委員会を活用した地域との連携、教職員の働き方改革等についても学校運営委員の方々から幅広くご意見をいただき、第二中学校区の学校経営にご支援をいただいています。

野幌中学校区 学校運営委員会を合同開催！ ～野幌中、野幌小、東野幌小、野幌若葉小が一緒に熟議～

10月18日(水)の市内小・中学校の「学校一斉公開」に合わせて、野幌中学校区の4校(野幌中、野幌小、東野幌小、野幌若葉小)が「えべつ型コミュニティ・スクール」の学校運営委員会を合同で開催しました。野幌中学校区の小中一貫教育推進体制の中の「CS・PTA・教育環境整備部会」が企画し、普段は別々に活動している4校の学校運営委員が初めて一堂に会し、交流を行いました。学校運営委員会の前には、可能な限り中学校区内の他校の学校視察も行い、子どもたちの様子や校内環境、授業の様子等を把握していただいた上で熟議を行いました。



はじめての4校合同学校運営委員会

当日の委員会の主な内容は、「野幌中学校区の進める小中一貫教育」についてと「野幌中学校区人材バンク」についての説明・熟議です。熟議で出ていた主な意見は、「いじめ問題等については、学校での指導の他、地域でも見守りが必要となってくる」「小中一貫教育の効果を生かしつつ、課題等があれば適切に対応していく必要がある」「地域には多様な知識や技術をもった方がいるので、その方々が気軽に学校へ参画できるような募集チラシにするとよい」等です。

熟議の最後には、4つの小・中学校の強みや弱みを共有して中学校区の教育の充実を図りつつ、野幌地域の子どもたちの健やかな成長を支え、地域の課題の解決にもつなげていくことを全体で確認しました。

主体的に学びに向かう力を育む学習指導と支援の充実

～中央中学校 石教研・江教研 学校課題研究発表会の開催～

石狩管内教育研究会と江別市教育研究会の指定を受けて3か年の研究実践を積み上げてきた中央中学校が、10月27日(金)に研究発表会を開催し、その成果を広く石狩管内の先生方に発表しました。その際、中央中学校区の対雁小と中央小の2校は、先生方が全員で参加し、授業参観と研究協議を通して対話やICTの活用を取り入れた授業改善等についての研修を深めました。

中央中学校区では、昨年度から3校で校内研究授業に参加し合い、研究内容の交流や指導技術の学び合いを行ってきました。今年度も9月下旬に中央小で、10月下旬に対雁小で行われた石狩教育局の学校教育指導にお互いに参加して研修を深めました。6月に実施された算数科・数学科の「教科指導連携研修」(R5.8.18発行第22号参照)と合わせて、これらの校内研究・指導方法の交流や児童生徒の様子を参観し合う取組は、3校で進める「系統的な指導」や「一貫した指導」の効果を高め、小中一貫教育の日常化を進めるための大きな力となります。



研究発表会の特設授業の様子

